

# 國際法外交雜誌

第113卷 第1号

2014年5月

## 論 說

The Mirage of Predictability in the Law of Maritime Delimitation:  
A Comparative Analysis of the *Bangladesh v. Myanmar*  
and *Nicaragua v. Colombia* Cases  
Professor, University of Copenhagen Yoshifumi TANAKA 1

Brussels I 規則改正に見る諸問題 関西学院大学教授 岡野 祐子 30

## 研究ノート

非国家主体への越境攻撃と「武力紛争」の概念 神戸大学助教 川岸 伸 54

「不戦レジーム」を超えて  
——ASEANの政治安全保障協力をどう捉えるか—— 青山学院大学教授 山影 進 85

## 資 料

万国国際法学会第76回総会の概要 112

## 紹 介

坂元茂樹・薬師寺公夫 編『普遍的国際社会への法の挑戦  
——芹田健太郎先生古稀記念——』 神奈川大学教授 阿部 浩己 119

Onuma Yasuaki, *A Transcivilizational Perspective on  
International Law* 京都大学名誉教授 安藤 仁介 124

Daniel H. Joyner and Marco Roscini (eds.),  
*Non-proliferation Law as a Special Regime:  
A Contribution to Fragmentation Theory in  
International Law* 南山大学客員教授 福井 康人 129

木棚照一 編著『知的財産の国際私法原則研究  
——東アジアからの日韓共同提案——』 明治学院大学専任講師 申 美穂 134

## 会 報

# 國際法外交雜誌

第113卷 第2号

2014年8月

## 特集「尖閣諸島問題」

### 論 説

- Between History and International Law: Senkaku/Diaoyu Dispute Revisited  
Professor Emeritus, Nagoya University Yoshio MATSUI 1
- Diaoyu/Senkaku Dilemma: To Be or not to Be ?  
Associate Professor, Tsinghua University Xinjun ZHANG 25
- Moving Forward on the Senkaku/Diaoyu Islands Issue:  
Political Context and Policy Options  
Professor Emeritus, Newcastle University Reinhard DRIFTE 49

### 紹 介

- 瀬岡 直 著「国際連合における拒否権の意義と限界」  
大阪外国語大学名誉教授 東 泰 介 69
- 多喜 寛 著「慣習法と法的確信——民事法と国際法の視座から」  
埼玉大学教授 山 本 良 74
- 掛江朋子 著「武力不行使原則の射程——人道目的の武力行使の観点から」  
東京外国語大学教授 松 隈 潤 79
- 日本国際経済法学会 編(柏木 昇編集代表)「国際経済法講座Ⅱ——取引・財産・手続」  
北海学園大学准教授 村 上 愛 84
- 信夫隆司 著「若泉 敬と日米密約——沖縄返還と繊維交渉をめぐる密使外交」  
大阪学院大学教授 佐 古 丞 89

### 主要文献目録

- 国際法 林 美香・玉田 大 94
- 国際私法 種村佑介・松永詩乃美 113
- 国際政治・外交史 山越裕太・富田晃正 130

### 会 報

- 弔 辞 154

# 国際法外交雑誌

第113巻 第3号

2014年11月

## 論 説

- 近代日本と国際裁判  
——「裁判嫌い」は神話なのか?—— 九州大学教授 柳 原 正 治 1
- グローバル立憲主義とヨーロッパ法秩序の多元性  
——EUの憲法多元主義からグローバル立憲主義へ—— 早稲田大学教授 須 網 隆 夫 25
- TPPと21世紀の国際貿易/投資規律 東京大学教授 中 川 淳 司 56
- 国際社会の立憲的性格の再検討  
——「ウェストファリア神話」批判の意味—— 東京外国語大学教授 篠 田 英 朗 74
- 研究ノート
- 英国外務省法律顧問としての Sir William Eric Beckett の国際訴訟実務  
——国際社会における「法の支配」を求めて—— 帝京大学准教授 喜 多 康 夫 97
- 書 評 論 文
- 水産資源管理における科学と外交——最大持続生産量(MSY)の起源と運用——  
京都大学特定助教 樋 口 敏 広 125
- 資 料
- 判例研究・国際司法裁判所  
刑事司法共助に関する特定問題事件(判決・2008年6月4日)  
国際司法裁判所判例研究会 133
- 国際法協会第76回(2014年)ワシントン(米国)大会報告 150
- 紹 介
- Antônio Augusto Cançado Trindade,  
*International Law for Humankind: Towards a New Jus Gentium*  
(The Hague Academy of International Law Monographs, Vol. 8)  
神戸大学教授 柴 田 明 穂 157
- Emmanuelle Tourme-Jouannet, *What is a Fair International Society?:  
International Law Between Development and Recognition*  
西南学院大学准教授 小 寺 智 史 162
- 塚田鉄也著『ヨーロッパ統合正当化の論理』 上智大学教授 岡 部 みどり 167
- 西村もも子著『知的財産権の国際政治経済学  
——国際制度の形成をめぐる日米欧の企業と政府』 神戸大学准教授 西 谷 真規子 171
- 西村邦行著『国際政治学の誕生——E・H・カーと近代の隘路——』  
南山大学准教授 山 中 仁 美 175
- 会 報
- 国際法学会2014年度(第117年次)研究大会 180
- 第1回小田滋賞選考経過および表彰式の開催 213
- 第47回安達峰一郎記念賞 216
- 訃 報 216

# 国際法外交雑誌

第113巻 第4号

2015年1月

## 論 説

- 多数国間環境協定と「他の国際文書」との相互連関  
 ——名古屋議定書を素材として—— 立命館大学教授 西村 智 朗 1
- 「国際刑事裁判所」における正犯の要件——ICCの「コントロール」理論を中心に——  
 神戸学院大学准教授 木原 正 樹 20
- 海上捕獲法の正当化根拠——ロンドン宣言(1909年)以前の学説・国家実行の検討——  
 大阪大学准教授 和 仁 健太郎 45
- 外国人の在留管理における児童の権利条約の適用可能性  
 ——日本政府の解釈宣言に関する「解釈」をめぐって——  
 京都女子大学専任講師 前 田 直 子 71
- 研究ノート  
 世界銀行のアカウントビリティとインスペクション・パネルの機能  
 ——「国際組織のアカウントビリティ」の法的位置づけに関する一考察——  
 東北大学助教 佐 俣 紀 仁 96
- 国際刑事裁判所(ICC)の訴追体制における制度的課題  
 ——被疑者の権利救済の観点から—— 大阪大学大学院博士後期課程 越 智 萌 123
- 資 料  
 国連国際法委員会第66会期の審議概要 国際法委員会研究会 149
- 解説・日本の国際法判例(9)——2011(平成23)年——  
 「日本の国際法判例」研究会(第2期) 183
- 紹 介  
 Seokwoo Lee and Hee Eun Lee (eds.),  
*Northeast Asian Perspectives on International Law:  
 Contemporary Issues and Challenges* 立命館大学教授 吾 郷 眞 一 225
- Shigeta, Yasuhiro, *International Judicial Control of Environmental Protection:  
 Standard Setting, Compliance Control and the Development of International  
 Environmental Law by the International Judiciary*  
 東京外国語大学准教授 石 橋 可 奈 美 230
- 会 報  
 一般財団法人国際法学会  
 2012年度第2回(通算第2回)評議員会(臨時)(電磁式)～  
 2014年度第3回(通算第7回)評議員会(臨時)(電磁式) 235
- 一般財団法人国際法学会  
 2012年度第3回(通算第3回)理事会(臨時)(電磁式)～  
 2014年度第4回(通算第13回)理事会 237
- 個別報告公募のお知らせ 244
- パネル公募のお知らせ 245
- 計 報 246
- 総 目 次 259